



ている現実を見ることができました。

がんの発生には、生活習慣、遺伝的素因、喫煙、食事、ストレスなどさまざまですが、明らかに発がん性のある、毒ガスに曝露されることは、大変不幸なことです。無差別殺人兵器といわれる毒ガス兵器は決して許される問題ではなく、しかも、運よく生存できたとしても発がんを引き起こし、長い間、苦しまなくてはなりません。

今後、当会の活動とともに、発がん過程の研究や、その予防、QOL を維持できるような医療体制を、大久野島で得た経験をもとに、イランの被害者の方々をサポートしていきたいと決意しています。

次回は、連載を再開したいと思いますので、ご期待ください。

副理事長 津谷隆史

## ●シリーズがん療養生活の基礎知識 AtoZ

\*\*\*\*\*

### 在宅医のつぶやき⑥

皆さんもご存知のように日本人の死因のトップは「がん」であり、毎年日本人の約30%の方が「がん」で死亡しておられます。

「がん」になった時にどのように治療を受けたり、どのように療養するかは今や決して他人事ではなく、誰もがこれから切実に考えていかなければならないというのが現実だと思われま

厚生労働省の調査（平成15年度）によると「自分が痛みを伴う末期状態になった場合にどこで療養したいか」という設問に対して一般の方は、

第1位「自宅で療養して必要になれば緩和ケア病棟（ホスピス）に入院したい」26.7%

第2位「なるべく早く緩和ケア病棟に入院したい」22.9%

第3位「自宅で療養して必要になればそれまでの医療機関に入院したい」21.6%

第4位「自宅で最後まで療養したい」10.5%

第5位「なるべく早く今まで通った医療機関に入院したい」9.6%

という結果でした。

何らかの形で「自宅で療養したい」と考えておられる方は58.8%もおられますが、「自宅で**最後まで**療養したい」という方は10.5%しかおられません。

「自宅で療養したい」と思いながら、最後は緩和ケア病棟や病院で療養したいとお考えになる理由は何か？ これについては次号でお話したいと思います。

理事 田村裕幸

## ●「がん患者さんのためのQ&A」

\*\*\*\*\*

がん療養生活の中で、さまざまな疑問や不安を感じます。

私たちは、がん患者さんやご家族のこのような疑問や不安の一つひとつ答えていき、安心して療養生活をしていただきたいと思います。

第5回目は、「**骨転移の痛み**」についてのご質問です。

(問) がんが骨に転移して、動くときに激しく痛み、ずっと寝たままです。痛みを軽減する方法はありませんか？

(答) 骨の転移の痛みはなかなかやっかいで、一筋縄ではいきません。

まず最初に、転移した場所に放射線治療を行うと、痛みが軽減することがありますので担当医に相談してみてください。

そして、鎮痛剤ですが、「動くときの激痛」にあわせてたくさん使うと、動かないときに効き過ぎて眠くなったり、ボーッとしたりすることが多いので、動く前に速効性のものを追加で用いてみる（レスキュー投与）、などの工夫が必要です。

また、「鎮痛補助薬」といわれる薬剤が、骨や神経の痛みにも有効といわれています。

元々は精神安定剤の系統の薬や不整脈のための薬や痙攣止めの薬などで、鎮痛剤ではないのですが、試してみる価値があると思います。ただし効き方には個人差があります。

これらのことを参考に、担当医に相談してみてください。少しでも楽な療養生活を送られますことを期待しております。

理事 藤本真弓

## ●平成17年度第1回「市民のためのがん講座」の報告

\*\*\*\*\*

こんにちは、理事長の広川です。会員の皆さまにはお変わりございませんか？

今年度の「市民のためのがん講座」では、ゲスト演者を毎回お迎えし、理事長の私と二人の講演をセットで聞いていただけるとい、非常に魅力的な企画シリーズといたしました。

第1回目は、5月28日（土）午後3時から5時に開催されましたが、約100名の皆さまに参加いただき、熱心に聴講していただきました。

広島大学病院の安井弥先生は、「がん細胞の不思議」と題して、日頃は皆さまに縁の少ないと思われる病理学という学問や、病理医の仕事ががんの診断治療になくてはならない重要な役割を果たしていることを紹介され、最近の先端的な学問の進歩をととも分かり易くお話ししていただきました。

次に私が、「子宮がんの基礎知識」と題して子宮の形やしくみを最初にお話した後で、子宮頸部がんと子宮体部がんの違いやその治療方法などを説明いたしました。

今回の講演のエッセンスを下にまとめておきましたのでご参考にしてください。

次回（7月23日）の「市民のためのがん講座」では、広島平和クリニックの大塚信昭先生による「がん早期発見のPET検査」と、理事長による「卵巣がんの基礎知識」をお送りする予定です。乞うご期待。

### 「子宮がんの基礎知識」

#### (1) 子宮と子宮がん

- 子宮は全体として中空の西洋梨の形をしている。
- 球形に近い形の体部は胎児の宿る部分であり、下方に続く部分は細長く、その先は膣に突出している。この部分が頸部で、膣のほうから見ると奥の突きあたりに頸部の一部が見える。
- その中央には子宮の内腔に続く入口があり、この入口を外子宮口と呼んでいる。

- 婦人科のがんで最も一般的な子宮がんには、子宮頸部がんと子宮体部がん（内膜がん）がある。
- 我が国では、子宮体部がんの発生する割合は少なく、子宮頸部がんの約5%ほどである。
- 最近増加して、治療施設によっては30%を超えるようになった。
- 同じ子宮のがんであっても、子宮体部がんと子宮頸部がんは、診断・治療・予後においてすべて異なるので、子宮体部がんと子宮頸部がんの違いを正しく理解することが大切である。

## (2) 子宮頸部がん

- 子宮頸部がんは、この外子宮口付近に発生することが多い。
- 普通の婦人科の診察でこの部分を観察したり、検査すべき細胞や組織を採取することが可能である。したがって、早期発見が容易なわけである。
- 初期の子宮頸部がんでは、全く症状がないのが普通である。婦人科の症状がなくても、30歳のころから、年に1回子宮がんの検診を受けることをお勧めする。
- がんが少し進行した時のはじめの症状としては、月経でない時の出血、性行為の際の出血や普段と違うおりものが増えたりする。他に月経の量が増えたり、長びいたりすることもある。

## (3) 子宮体部がん

- 子宮体部がんは疫学的に、動物の脂肪を好む食生活をする地域に多いことが知られている。
- 我が国に住む日本人に比べて、ハワイに住む日本人の発生頻度は高く認められている。
- 最近の子宮体部がんの増加は、食事が肉食を主とする欧米型にかわってきたことがひとつの原因としてあげられている。

理事長 広川 裕

### ●広島県内のがん関係イベント情報

\*\*\*\*\*

#### ○のぞみの会 第49回例会（講演会）

日時：2005年7月10日（日）14時～16時

場所：広島市中区地域福祉センター（tel：082-249-3114）

講師：紅林淳一先生（川崎医科大学 乳腺甲状腺外科）

演題：「乳がんの治療法：ホルモン療法を中心に」

参加費：会員無料，一般500円

### ○平成17年度第2回「市民のためのがん講座」

日時：2005年7月23日（土）15時～17時

場所：広島市中区地域福祉センター（tel：082-249-3114）

テーマ：①がん早期発見のPET検査（広島平和クリニック 大塚信昭先生）

②卵巣がんの基礎知識（順天堂大学医学部 広川裕先生）

連絡先：事務局（TEL/FAX 082-289-0610 info@gan110.rgn.jp）

参加費：（1回）会員 800円 協力団体会員 1,300円 一般 1,300円

### ○緩和ケアを考える会 第35回事例検討会

日時：2005年7月23日（土）14時～16時

場所：県立広島病院中央2階講堂

発表：県立広島病院緩和ケア病棟

連絡先：藤本真弓（県立広島病院ペインクリニック）

082-254-1818（内線 2533）

参加費：500円

### ○市民とともに地域の暮らしを変えよう ～いのち輝く在宅ケア～

日時：2005年9月18日（日）19日（祝）

場所：広島国際会議場

主催：NP0在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク、中国新聞社

連絡先：いでした内科・神経内科（082-842-1027）

### ○びわの葉の会 9月例会

日時：2005年9月23日（祝日）午後1時から

場所：広島市中区地域福祉センター（tel：082-249-3114）

テーマ：「聞かせてください、患者の家族の思いを」

内容：シンポジウム 前半 基調講演 江川綾子さん

後半 パネルディスカッション

基調講演の江川綾子さんは、評論家田原総一郎・節子夫妻の次女で、母節子さんのがん闘病を支えられた体験談を話していただきます。

後半は、江川さんを囲んでパネルディスカッション。  
連絡先：732-0063 広島市東区牛田東2丁目13-8 松田 勇  
(E-mail : lifeup613@ybb.ne.jp)

## ●編集後記

\*\*\*\*\*

第6回ニュースレターは、なんとか6月中にお送りできました。

これも皆さまのこのニュースレターに対するご期待の大きさにできるだけ  
応えたいという気持ちからです。

引き続き、会員の皆様からのご意見、ご要望、ご質問を募集しております。  
是非、担当者へお寄せください。ご紹介させていただきます。

(浩)

---

■発行：NPO法人 がん患者支援ネットワークひろしま 事務局

<http://www.gan110.rgn.jp>

■お問い合わせ： [info@gan110.rgn.jp](mailto:info@gan110.rgn.jp)

■Copyright：NPO法人 がん患者支援ネットワークひろしま

---